

四国システム建築 協力会が総会開催

JFEシビル

ル」の四国地区の施工
店などで構成される
「JFE四国システム
建築協力会」の14年度
総会がこのほど、高知
県高知市のホテル日航
高知旭ロイヤルで開催
された。写真。

冒頭、会長の近藤宗
利コンテツ社長が「シ
ステム建築を活用した
1社1棟運動を展開し
協力会の活性化に繋げ
たい。シビルと一緒に
動くことで受注の可能
性が広がる。一緒に頑
張ろう」と挨拶。続け
て来賓の田代敬治JF
Eスチール四国支社長
が挨拶し「初めて協力



JFE
Eシビ
ル(社
長・藤
井善英
氏)が
展開す
るシス
テム建
築商品
「メタ
ルビ
ル」の
今年度
の全社
売上目
標は630
億円で14
0億円の
売上げを
占める
システム
建築事業
部は中核
事業。さ
らなる
成長ため
協力会と
連携を再
強化し、
人手不足
下のシス
テム建
築の優位
性を前面
に協力会
の拡大を
図り、会
員とシビ
ルが一緒
に儲かる
ことを目
指した
い」と述
べた。

JFEの総会に出席する
が、メタルビルと耐震
補強材、立体駐車場の
三本柱で皆様が頑張っ
ている。当地区の需要
に対し一緒に工夫して
いこう」と述べた。

また、JFEシビル
を代表して挨拶した本
原義凡取締役は「当社
の今年度の全社売上目
標は630億円で14
0億円の売上げを占め
るシステム建築事業部
は中核事業。さらなる
成長のため協力会との
連携を再強化し、人手
不足下のシステム建
築の優位性を前面に協
力会の拡大を図り、会
員とシビルが一緒に儲
かることを目指した
い」と述べた。

JFEシビル 高で東北支部安全大会 JFEコンフォームと



JFEシビル安全衛生協議会東北支部とJFEコンフォーム安全衛生協議会東北支部はこのほど、仙台市のJFE条鋼で東北支部合同の14年度安全大会を開催した。

大会では、冒頭、細谷田光JFEシビル常務取締役・JFEコンフォーム社長「写真」が「仕事が忙しいからといって労働災害が多くなつてはいけません。現場で働く人を毎日安全に家に帰すことは経営者・事業主の責務である。一日一日安全を積み上げ、無事故・無災害を達成しよう」と挨拶した。続いて、鈴木一秀JFEシビル安

全衛生協力会会長(有村建設社長)が「『声掛けヨシ』『作業前のひと呼吸ヨシ』『事前検討・KYヨシ』の3本ののぼり旗を各現場に掲げ、朝礼

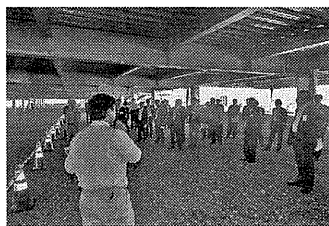
のときに標語を唱和するなど、安全意識を高めてほしい」と呼びかけた。

このあと、安全表彰のほか、建設業労働災害防止協会東北地区担当の伊川廣司氏が「災害ゼロから危険ゼロへ安全管理はリスク管理の時代へ」と題した安全講話を実施した。

システム建築協力会 東北・北海道会が見学会

JFEシビル
システム建築協力会
北海道

JFEシビル
Eシビル(社)
長・藤井善英
氏の東北システム建築協



このほど、北海道新幹線開通整備として北海

立体駐車場を見学

道北斗市が工事発注し、同社が受注・施工中の新函館北斗駅前立体駐車場の現場見学会を実施した。

見学会では、工事概要や受注に至る経緯説明に続いて、現場担当者が施設内部を案内。構造上の特長や施工上のポイントなどを詳細に解説した。

北海道新幹線・新青森・新函館北斗間は、16年3月を開業予定として整備しているもの。見学した立体駐車場は、新函館北斗駅の利便性向上を図ることを目的に、駅隣接地に130m×40m、3階手すりまでの高さ約8・4mの2層3段式、収容駐車台数584台の規模で建設を進めている。工事は12年7月に着工、使用鉄骨量は700ト弱に及ぶほか、床スラブにはJFE建材のQレデッキを延べ約8千平方メートル用いている。